

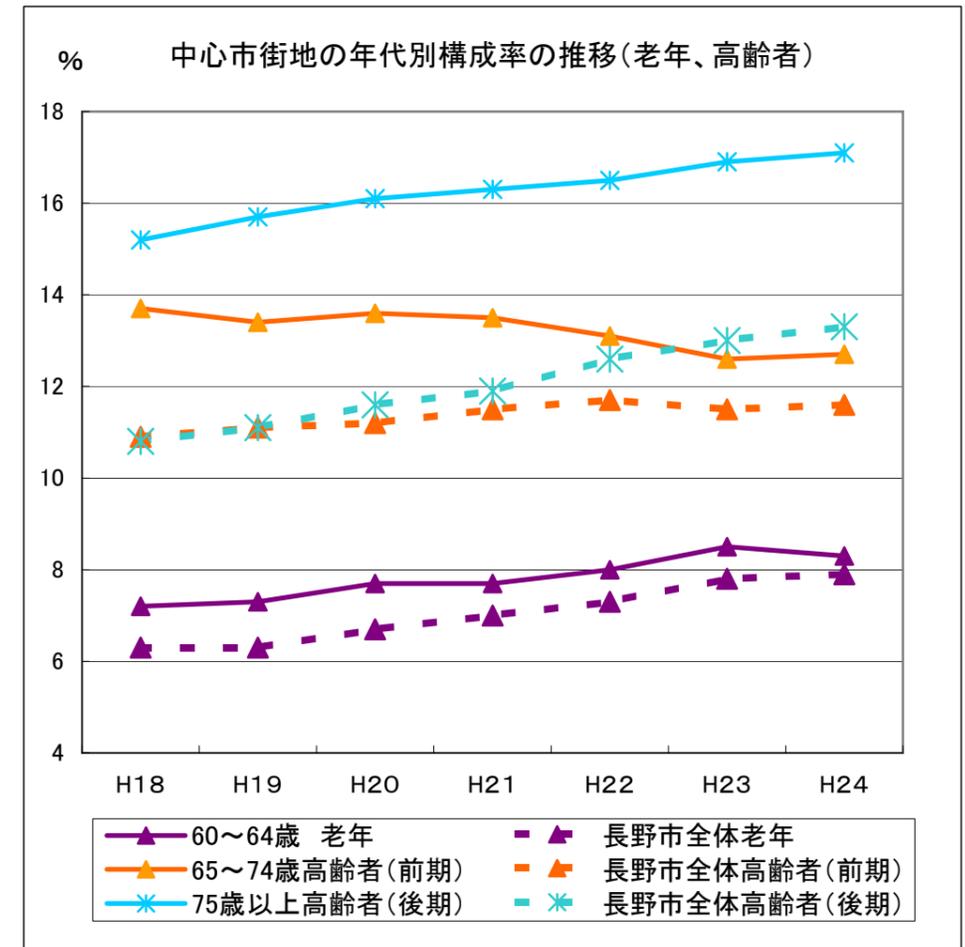
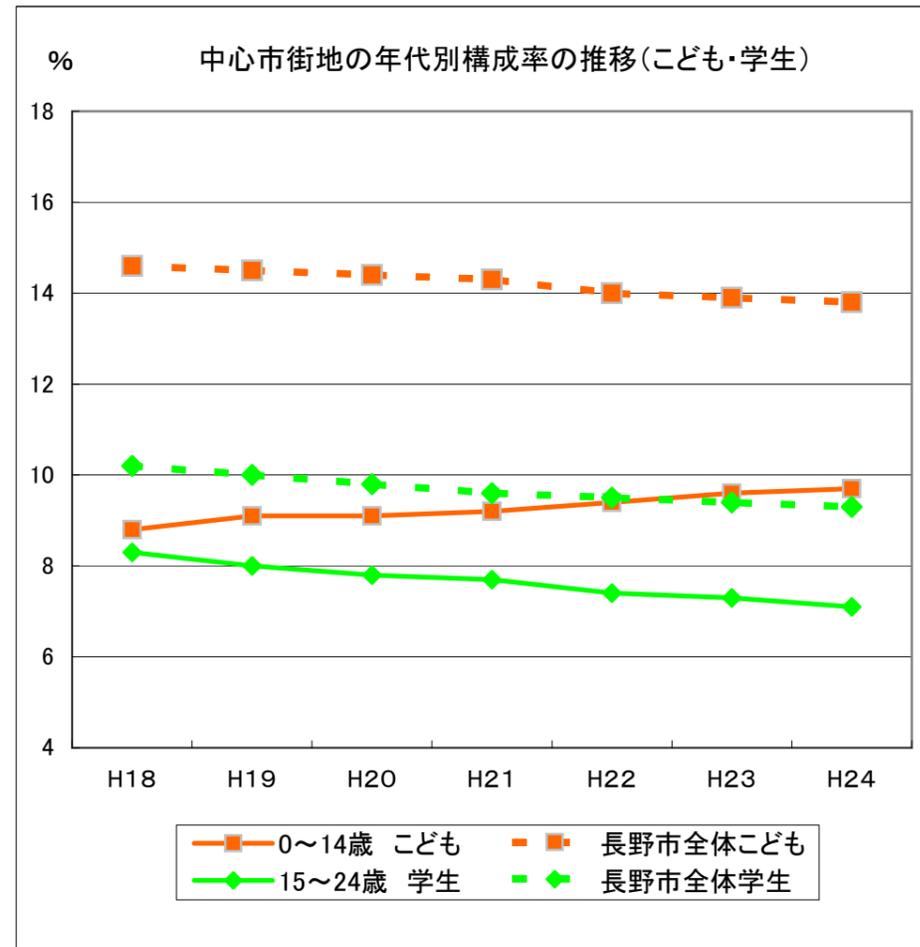
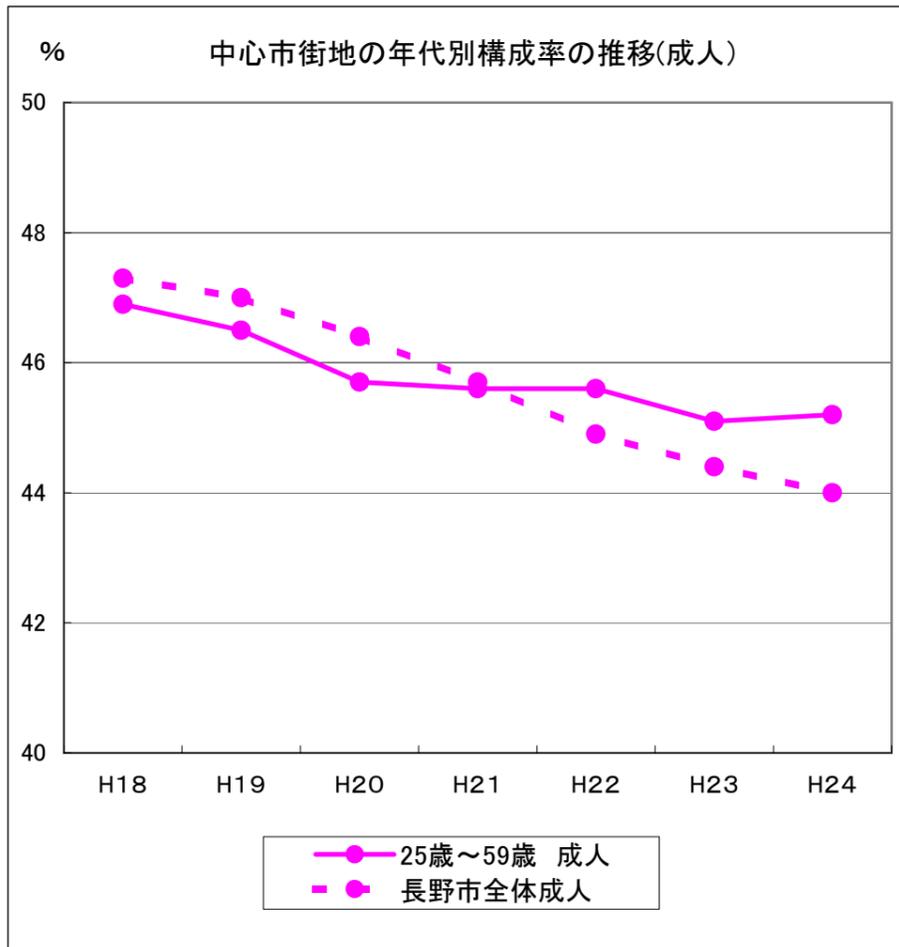
中心市街地、年齢別(高齢化率)推移

* サブ調査数値 = 中心市街地エリア内の居住者数

(%)

	0～14歳 子ども		15～24歳 学生		25歳～59歳 成人		60～64歳 老年		65～74歳高齢者(前期)		75歳以上高齢者(後期)	
	中心市街地	長野市全体	中心市街地	長野市全体	中心市街地	長野市全体	中心市街地	長野市全体	中心市街地	長野市全体	中心市街地	長野市全体
H18	8.8	14.6	8.3	10.2	46.9	47.3	7.2	6.3	13.7	10.9	15.2	10.8
H19	9.1	14.5	8	10	46.5	47	7.3	6.3	13.4	11.1	15.7	11.1
H20	9.1	14.4	7.8	9.8	45.7	46.4	7.7	6.7	13.6	11.2	16.1	11.6
H21	9.2	14.3	7.7	9.6	45.6	45.7	7.7	7	13.5	11.5	16.3	11.9
H22	9.4	14	7.4	9.5	45.6	44.9	8	7.3	13.1	11.7	16.5	12.6
H23	9.6	13.9	7.3	9.4	45.1	44.4	8.5	7.8	12.6	11.5	16.9	13
H24	9.7	13.8	7.1	9.3	45.2	44	8.3	7.9	12.7	11.6	17.1	13.3

— 実線 中心市街地の構成率
 点線 長野市全体の構成率



【分析】

- ・老年、高齢者の比率は、長野市全体と比べて中心市街地の方が高い
- ・一方、子どもの比率は、長野市全体と比べて低い。他の年代と比較してもその差は大きい。
- ・長野市全体の成人の人口は減少傾向にあるが、中心市街地についてはほぼ横ばいであり、比率は長野市全体と比べて高くなってきている。
- ・長野市全体の子どもの人口は減少傾向であるが、中心市街地においては増加している

【検証】

- ・近年のマンション建設の結果、小さな子どものいる世帯が増えたと推察
- ・また、高齢者においても、同様の理由により増加している
- ・学生の減少に関しては、高校を卒業し、大学進学等で市外に転出しているのではないかとと思われる